



わが街再発見セミナー

～夢を形に 形を現実に～

国が推し進める「地方創生」は、人が集い、そこに仕事生まれる好循環を目指しています。しかし人が集うためにはその地だから成立するロマンやストーリー、ブランディングや必然性も必要です。その為には資源や価値を再発見し、ビジョンを描きつつも具体的な形にしていく“術”が大切です。今回の学びの場が未来の種となれば幸いです。

平成29年

2.21 (火曜)

13:30～17:00

会場

クローバープラザ
(東棟5階 506 研修室)

参加費

無料 ※事前にお申込ください。

第1部

13:30～15:30

地域の“歴史ロマン”を紐解くセミナーです。
日本の古代史がお好きな方におすすめです。

邪馬台国は 福岡平野にあった！

～魏志倭人伝から読み解く、いにしへの春日～

講師

高柴 昭氏 [九州古代史の会・顧問]

魏志倭人伝にある邪馬台国のあったとされる候補地は、旧来より諸説あるものの、著者の言う倭人伝の自然体での読み解き、即ち短里に基づく距離感と実際の地形を踏まえた解説は説得力十分です。その場所とは…！

第2部

15:40～17:00

地域の未来とその手法を考えるセミナーです。「地方創生」をテーマに不動産証券化についての知識を深めましょう。

観光資源と 不動産証券化を 活用した地方創生

講師

古田 高士氏 [デロイトトーマツ シニアアナリスト]
[不動産鑑定士] [宅地建物取引士]

今さら聞けない!? 地方創生にも必要なクラウドファンディングや不動産証券化について、事例を交えながら、分かりやすく解説します。

参加お申込み ▶▶▶▶▶ FAX番号 092-923-8966

(定員になり次第、締切とさせていただきます)

(電話のみでのお申込みも可能です。下記の電話番号へ。)

参加希望： ☐ 第1部 (名)

☐ 第2部 (名)

お名前

お住まいの市区町村

電話番号

主催
合
催
せ



公益社団法人
福岡県宅地建物取引業協会／筑紫支部
TEL:092-923-8948

後
援

春日市・春日市教育委員会
公益社団法人 筑紫法人会
NPO法人 九州国立博物館を愛する会

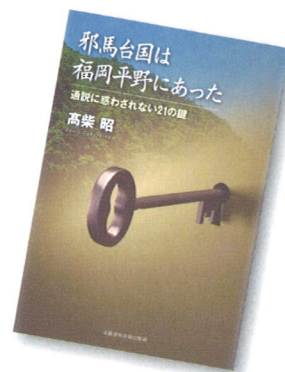
第1部

邪馬台国は福岡平野にあった！

～魏志倭人伝から読み解く、いにしえの春日～

講師の高柴氏は、福岡県立修猷館高校、九州大学工学部を経て、昭和40年に伊藤忠商事（株）入社。会社勤務時代の後半頃から古代史に大きな関心を持ち、探求の道へ。

「東京古田会」で会報の編集を担当するも、古田武彦氏と異なる見解の一端を披瀝し、猛省せよとの叱咤を受け退会。「九州古代史の会」で日本書紀の購読を主宰し、顧問として現在に至る。主な発表論考に、九州古代史の会で発表した、イザナギ・イザナミの黄泉の国神話は実在した人々による実際に起こった事件が神話化されたものであるとする「記録に残る我国の歴史は博多湾から始まった」及び、現存古事記の序文は偽りで、後代に加筆されたものである一方、原古事記の成立は序文記載よりも古く舒明天皇時代であることを見出した「現存『古事記』の成立は和銅五年より新しい」などがある。



※高柴先生を中心に故郷の歴史ロマンを楽しく探求、まちづくりにも活かしたい!!と勝手連なサークルを立ち上げます。当日ご案内しますので、ご興味あれば是非!!

第2部

観光資源と不動産証券化を活用した地方創生

地方創生に向けては、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、それを支える「まち」に活力を取り戻すことが重要です。そのためには、地域の産業を支え、人々が快適に暮らすことができる不動産の形成・再生が不可欠です。

地方創生に貢献する不動産の形成・再生を図るためには、地元事業者や地域金融機関など地域の関係者が一体となって、不動産の収益力をベースに多様な投資家等から資金調達を図る不動産証券化手法を活用した取り組みが始まっています。しかしながら、地方都市における不動産証券化の事例はまだ限られており、そのノウハウを持った人材が少ないため、国土交通省ではモデル事業に対する支援等を通じて地方都市の不動産証券化事業を担う人材育成を行っています。

地方都市において不動産証券化事業を担う地元事業者におかれては、どのように収益性の確保に向けた工夫を行っているのか、また資金の調達を行っているのか。地域金融機関におかれては、不動産の活用による地域活性化の意義やそのリスクをどのように捉えてファイナンスに取り組んでいるのか。こうした点について、地域の関係者の参考としていただき、地方創生の取組の一助になれば幸いです。

エリアマネジメント事例



「スノーモンキーをフックに山ノ内町の温泉街を活性化する WAKUWAKU やまのうち」

衰退する温泉街のメインストリートの再生をまちづくり団体で実施した事例。地域創生型ファンドの協力により、不動産取得改修費用と専門家を調達。まちづくり会社が主体となり、廃業・未利用となった不動産を取得し運営。